

みょうほうれんげきょうによらいじゅりょうほんげ
妙法蓮華經如来寿量品偈

私が仏となつてから経過した時間は、百千万億という長い時間です。

その間に眞実の教えを説いて無数の人々を教化し、仏の道に導いてきました。それから長い時間が経過しました。

私は人々を救うために、一度は（釈迦として）死にましたが、実際に死んだのではなく、常にこの世界にいて法を説いているのです。

私は常にこの世界にいますが、事実には反する見解を持っている人々には、神通力によつて姿を見せないようにしているのです。

人々は私の死を見て、私の遺骨を供養し、慕い、敬いました。

仏の教えを求めようとし、心が柔らかく素直になり、仏と供に居たいと願ひ、そのためには命も

惜しまないほどです。このような人々が多くなれば私は、弟子たちとこの世界に姿を現して、「私は常にこの世界にいて不滅ですが、人々を導く手段として死んでみせたのです。」

またこの世界以外でも、正しい教えを信じ敬うならば、その人々の前に現れ、無常の教えを説くでしょう」と人々に語ります。

多くの人々はこれを信じず、私死んだと思っ
ています。

今仏の眼で人々を見ると、苦しみの中にあ
えいでいます。だから姿を現わさず、仏の教
えにすぎる心を起こさせるのです。

私を仰ぐ心が起これば、こうして姿を現し、
教えを説くのです。

私の神通力はこのようなもので、永遠の過
去から永遠の未来まで、常にこの世界や他
の世界に存在しているのです。

この世界全体が大火に焼かれてしまうよ
うな

ことになっても、私の国土は安らかで天人や人間界の者が集まり、楽しく暮らしています。

美しい花園や、静寂な林、宮殿は、種々な宝石で飾られ、木々には多くの花や実がなり、人々はそれらを楽しんでいます。

天人は音楽を奏で、常に多くの音楽を演奏し、マンダラの花が雨のように、仏や人々の上に降り注いでいます。

仏の眼から見た世界はこのように平和で美しいのですが、人々から見ると大火に焼かれるように、不安や恐怖に満ちているように見えます。

このような人々は良くない行いを積み重ねているために、長い年月が経っても三宝（仏・法・僧）の名を聞くことができません。

罪を重ねてきた人々は、悪い行為の結果、どんな長い時が過ぎても、私の教えを聞くことができませんが、善い行為を積み重ね、心が素直な人々は、皆私の姿を見ることができ、私の教え

を聞くこともできます。

こうした人々に、仏の寿命は永遠であると説き、
かろうじて仏の姿を見ることができた者には、仏
の姿を見るのは困難だから怠らず励みなさいと
説きます。

私の智慧の働きがこれほど大きく、その光はどこ
までも照らし、寿命が永遠なのは、過去の長い
間の修行の結果なのです。

真実の智慧を求めているのであれば、私のことを
説いたことを疑ってはいけません。

疑う心を完全になくして下さい。

仏の言葉は常に真実です。

例えば良医病子の譬えで医者が、誤って毒を
飲んで気が動転してしまった自分の子供達を
救うために、自分は生きているのに死んだことに
させたのを、だれも咎めないのと同じように、私も
人々の父として、彼らの苦しみを救おうとしてい
るのです。

常に人々の苦しみを除こうとしているのですが、
事実には反する見解を持っている人々は、私が死
んだと錯覚しています。

私が常に姿を現わしていると、なまけ心を起こ
し、欲望に捕われて、悪世界に墮ちることにな
ります。

そこで私はいつも人々が、正しい道を歩んでいる
かを見極め、どうすれば救えるかを考えながら、
その人その人に適切な方法を選び、ふさわしい
教えを説いています。

どのような人々に対しても私の本心は変わらず、
どうすれば人々を最高の教えに導き、一刻も
早く仏の境地に成るだろうか、と常に念じてい
るのです。